



総務産業常任委員
議会議長

田口 浩

町外からの職員の納税は 田口

町長

35名の職員が100%納税

Q ふるさと納税について今全国の自治体がこのふるさと納税にしのぎを削っているのが現状ではないかと思われますが町ではどの様に考えておられるか？

A 町長 全国的にニューズ等で取り上げられる様になりまして、当町のふるさと納税につきましても、地元出身者を中心にお盆や正月に同窓者等での機会を利用して呼びかけておりました。そして寄付金を募ってまいりましたが二十四年から増加傾向にはありましたが、なかなか思うような伸びにはなっておりませんでした。そこで、二十六年よりこれまで画一的な謝礼の品目を選択性にし、町の特産品や

事業所の品物を選択できる様にしたりホームページ上で電子申請による受け付けを開始した事で、南関町に直接関係のない方からの寄付が増えている状況です。

二十五年の実績として四十一件、百六十四万五千円

二十六年度は三月二日現在二百五件、三百一万二千円となっております、件数で四倍、額でも倍増しているところでございます。

ただ、他の市町村も何かと多くのふるさと寄付金を得ようと躍起になる余り、返礼品がエスカレーターしてしまつたことから総務省自治税務局から「返礼品については寄付金控除の趣旨を踏まえた良識ある対応を。」との要請がありました募集に際して対価の提供と誤解を招きかねない行為は慎むこと等の要請があつております。

また税制改革では申告手続の簡素化の仕組みの導入の推進などの通

知があつたところですが。町としましてもさらに返礼品の工夫などとして、様々な工夫、そして魅力ある南関町をアピールして、南関町の応援団となつて頂きます様に努力してまいります。

又、町外よりの町職員に対して昨年末において直接関係の職員に声をかけまして一〇〇%ふるさと納税を実現させていただきました。

Q 先程町長よりの答弁の中で町外よりの職員さんよりの納税が一〇〇%との事でしたが何名でしょうか？

A 総務課長 職員数は三十五名で金額一千万円です。又、返礼は五千円分の品物を送っております。又、返礼を辞退した職員もございません。

Q その寄付金の使途は

A 総務課長 職員と限らず、一般にふるさと納税寄付は、総合振興計画の事業に充てさせていただきます。要するに町の施策、事業に活用させていただきますというふうに記載しているものです

A 建設課長 松風トンネルに付しましては照明をLEDに交換し、トンネル内が狭く幅員が取れない為、路側帯を広くして立体的に見える塗装の仕方を二十七年中に行きたいと考えております。



宮ノ前通路路階段の手すり設置状況

Q 通学路問題について、関外目北開の南関インターから宮ノ前の通学路と下原から田町にかけての松風トンネルについてたずねます。

A 教育長 北開から宮ノ前にかけての通学路に関しては以前より聞いておりますが県の地域振興局の打ち合わせで今年中に手すりを設置する様に聞いています。

また、下原線の方は建設課の方からお答えさせていただきます。

後継者対策、農業者維持対策は？ 遊休地、耕作放棄地対策は？

立山



総務産業常任委員長
議会運営委員
広報調査特別委員

立山秀喜

国の制度紹介、資金借り入れの際のサポート体制。中間地総合整備事業の推進。

町長

Q 農業振興について、現在、当町には、認定農業者・農友会・がまだす隊（後継者）があるがどのような構成になっているか。又その会に加えるためには、どのような条件が必要なのか。新規就農、Uターン、Iターンの推移はどうなっているか。支援事業はどのようなものがあるか。遊休地、耕作放棄地を優良農地に変えるための事業はどうなっているのか。利用状況、広報は行っているか。

A 町長 農業者の高齢化と後継者不足により厳しい状況下であるが、担い手農家への農地集積や新規就農に対して就農給付金制度を設け、農業者の確保や強い農業づくりが進められている。本町において専業農家を中心に5年間で10名の後継者が育成できている。サポート体制として国の制度紹介・資金借り入れの相談体制・玉名振興局と2市4町で新規就農相談会を実施している。認定農家に対しては高度化事業補助金を活用して持続可能な農業者になってもらうのを期待している。荒廃地対策は、国・県による耕作放棄地緊急対策事業で一部解消が見られる。又対策として万次郎カボチャの推進もJA協力の下販売先も確保している。

Q 遊休地、耕作放棄地の対策事業があるが年間どれくらいあるか。又おこなわれているか。活用するに当たり水田・畑とも同じ条件で活用出来るか。この事業は単年度の事業であるが、優良

A 経済課長 耕作放棄地に変えるためには、最低でも3年かかると思いますが2年目・3年目の対策はないか。

A 経済課長 耕作放棄地については、10a当り農振地については国の事業で5万円（5年耕作）、農振外については県の事業で3万円（3年耕作）、これを活用して2年間で3ha程度解消されたぐらいで大きな成果は出ていない。事業広報については特段最近はやっていない。2年目の対策としては土壌改良をする場合として2万5千円の交付があり、これに町が3年目に移行するのを検討していただく。

Q 教育問題について、小・中学校でのいじめの問題状況はどうなっているか。学習障害でディスレクシア（難読症）字が書けない、読めない、歪んで見るとかあるが本町では

A 教育長 昨年度いじめ防止対策法が施行され基本方針と対応マニュアルを取り組んでいる。各小学校で数件あったが短期に解決が済み未解決の事案はない。中学校では12月1月で7件の事案があったがマンアルに沿った対策で取り組みにあたっている。ディスレクシアについては読むことの苦手、文字の認識が苦手なるとの報告があり、当町でも支援学級で個別に指導していき特別支援のための教職員の研修を積んでもらい、その支援学級専門的にかかわっている先生をコーディネーターとして、障害の内容についての研修・対応の仕方、人間関係作りまで含めた研修を積んでもらい、新たなディスレクシアについても校長まで下ろしたので、対応していく。



進む荒廃地



文教厚生常任委員
監査委員

打越潤一

町の活性化で何を要望するのか

打越

定住、結婚、子育て、観光に関する施策を

町長

Q 地方創生に伴う町の要望は。①町の活性化で何を要望するのか。

A 町長 南関町のような中山間地域では人口の減少を防ぎ、また仕事づくりの観点から定住、結婚、子育て、また企業の誘致を含めて農林業や観光に関する施策を重点的に盛り込む。町の地域の自主性を発揮した地方単独事業を計画的に盛り込む。

Q 地域消費喚起・生活支援型事業に2,257万2,000円、南関プレミアム付共通商品券事業補助金が2,257万2,000円同額を、全額を繰り越し明許費で使うのか。

A 総務課長 限度額いっぱいには予算を組み、それを次年度に繰り越す。

Q この金額を南関町商工会に委託し、商品券の発行

A この商品券の業務自体は商工会に委託することで、図柄等については提案があったものを町のほうも見せていただく。商品券自体は1億2,000万円になり、あと257万2,000円が印刷費などの事務費で、換金手数料、PR費用等が必要となるのでその経費に充てるということになる。プレミアム分は2,000万、それは交付金の対象ということになる。

Q 乗合タクシー運行委託料791万3,000円、これは南関には事業者が一つしかないか。

A 総務課長 南関には1社しかない。

Q 備品購入で乗合タクシーの2台、722万4,000円、これは10人乗りワゴンタイプ、このタクシーはどこに保管するのか。

A 総務課長 車2台を役場で購入して、業務委託をその事業者にお願いをする。その事業者の車庫に貸し出しをする。

Q 図柄等も商工会に全額一任するのか。

A まちづくり課長

Q ②参加市町のパネルディスプレイスカッシュンで得たものは

A 町長 柳川市では柳川市合併10周年記念に合わせ、北原白秋生誕130周年を記念し、白秋サミットを白秋の誕生日である1月25日に開催された。この催しには白秋のゆかりの地で神奈川県三浦市、小田原市、そして天草市と南関町が招待され、それぞれの市町がパネルディスプレイのパネラーとして参加した。白秋顕彰としては南関町からは大里教育長が文化協会を代表し、その他4団体の皆さまとともに発表された。また、南関第一小学校の6年生も柳川市矢留小学校の児童とともに山田耕作作曲、北原白秋作詞の校歌を披露した。

Q 本町でも、長きにわたる白秋生誕短歌会や御茶屋跡での白秋生誕祭等を盛り上げながら白秋の顕彰を行っていき

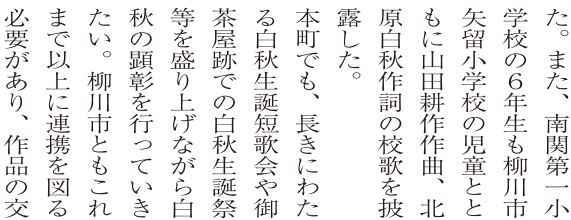
A 柳川市ともこれまで以上に連携を図る必要がある、作品の交

流も申し入れており、南関町民の皆さまにも披露しながら白秋を通じて柳川市との友好関係を築いていきたい。

Q 教育長 白秋を顕彰するために南関町として一つは白秋の母の里の生家を保存していくこと。そして活用すること。これをどのようにするかは今後の大きな課題である。先だって町長と一緒に白秋の生家である石井家を尋ねて、快く今回、おもてなしを受けたところで、今後話

がうまく進めば本場に保存の方向で進める。

もう一つが、白秋が生家のほうの思いもある。石井家の思



白秋サミットで共同宣言



いもあるが、白秋先生がたくさんの詩や歌をつくっておられるので、ぜひ町内に歌碑をもっと増やして、そして歌碑めぐりを観光コースにされたらいかがかという提案もいただいたので、3基ほど新たに今見積もりだけはとっているところだが、今後徐々に白秋先生の歌碑を建立できればと考えている。20以上の短歌がつくられており、こういったことも今後顕彰していくのに大事かなと思う。

まとめ

南関町でも39回と北原白秋生誕を記念し、短歌会を自分達の趣味でやっておられる。柳川市も同じような形でやっておられると思う。そういうのも生かしながら、まちづくりのほうに取り組んでいただきたい。

杉村

職員の給与について問う

南関町は県下 45市町村中39位

町長



総務産業常任委員
広報調査特別委員
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

Q 町職員の給与は県下市町村の中においてどの位置にあるか。またラスパイレス指数で100とした場合の数値はいかかなものか。また、近隣市町村と比較した場合の南関町職員の給与は妥当と思うか。資料があれば議員の方々にも配布をお願いしたい。

A 町長 平成22年の指数が90.9この時点で45市町村中42位と熊本県内で低かったため、翌年の23年度から年齢の高い順に3年間に分けて平成24年1月1日に在職する職員を対象に在職者調整としてそれぞれ1年間の平均的な昇給となる4号級の昇給を行った。結果として平成26年のラスパイレス指数は92.

2となり、45市町村中39位となり5年前と比較すると2ポイントの増となっている。しかし、玉名郡内を見ると和水町95.0、長洲町95.3玉東町96.3熊本県内の市町村平均が97.3となっており、県内で見るとまだ指数としては低い状況にあります。この状況が妥当かという、もう少し上位に位置することで職員の勤務意欲に繋がりが、住民サービスの向上に資することになると考える。

また、平成27年度から従来の能力及び勤務態度の評価に加えて、これから人事評価制度により職員が職務遂行に当たり発揮した能力及び業績を期末勤勉手当の支給、昇給、昇格に反映させ、職員の更なる自己研鑽を踏まえ職員の資質の向上を図る。



接客対応する職員

Q 職員の勤務状況に對してどのような評価されているか尋ねる。

A 総務課長 年に二度勤務状態を調べることであり、第一次審査の評価者は各課長であり、第二次審査は副町長に課長たちの評価をしている状況でこれが通常の勤務評定といわれ、具体的には指導力、勤務状況、企画力など5ポイントで現在は評価しており、町長が先ほど答弁で申した人事評価という形で人事の能力評価、業務評価という二本立てで今後は行うこととなる。

Q 現在実施している評価は以前からありましたが、今までなかなか出来てなかったというのが実態と思うが副町長如何か。

A 副町長 今までも従来からあっており、管理職については私の方が評価をして町長に報告しており、内容を見ますとやはり5段階方式で中には指導を要する職員も幾人か見受けられる。

Q この評価はなかなか難しい面があると思う各課長も苦労されると思うが、これは鬼になつて優秀じゃないけど、できる人、それなりの人しっかりと見極めて評価し、ラスパイレス向上に

繋げてもらえればと思う。

おまひ ラスパイレス指数も若干上がったきている状況ではあるが、近隣市町村と比べるとまだ低いいため、職員の仕事に対する意欲が損なわれがちであり、ぜひラスパイレス指数を上げて行って貰いたい。

ただ単に給与を上げなさいということではないので誤解のないようお願いする。

一生懸命仕事している職員とそれなりの職員との辺の差を付けて評価するなり、頑張っている職員その見極めをしっかりととしてラスパイレス指数を39位から県下市町村の平均までは上げて職員の仕事の意欲を向上させて町発展のために尽力願いたい。

この質問、答弁の詳細は1500文字以内では書ききれないため議事録を是非ご覧いただきたい。